

2020年度「実務経験のある教員による授業科目」

2020年度に開講される以下の授業科目は、主に総合科目における「実務経験のある教員による授業科目」（※1）です。履修の参考にしてください。

なおこの情報は、2020年度シラバスでは、シラバスのキーワード欄および備考欄に登録されています。

<シラバス照会画面からの検索方法>

(1) 3Sの「授業」メニュー→「シラバス照会」をクリック

(2) 開講年度（※2）を指定し、キーワード欄に「実務経験のある教員による授業科目等」と入力して、検索

※1「実務経験のある教員による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指します。プロジェクト型の授業など、主として実践的教育から構成される授業科目も含まれます。ただしこれは、全学部の1～4年生が履修可能である総合科目を中心に抽出したものです。専門科目などは、「実務経験のある教員による授業科目」の定義に合致している内容であっても、抽出の対象外です。

※2 2018年度までのシラバスではキーワードが登録されていないため、検索することはできません。

									修得可能単位数		
分野		科目名	単位	配当 年次	担当者名	実務経験	実践的 教育	授業内容(実務経歴と授業とのかかわり、実践的教育の内容など)	経済学部	人文学部	社会学部
総合・A	講義	情報技術と人間社会[1]	2	1～4	桂 由紀子	*		コンサルティングファーム及びIT企業で経営戦略/ビジネス/ITコンサルタントとして勤務経験のある講師が、私たちが日常使っている仕組みで使われている情報通信技術を解説します。大手企業の収益向上を支援してきた講師の実務体験を元に、実際のビジネスや日常生活の中で情報通信技術がどのような目的でどのような形で使われているかを学び、先端技術とその社会への影響について理解の向上を図ります。	2	2	2
総合・A	講義	情報技術と人間社会[2]	2	1～4	竹内 広宜	*		コンピュータ関連企業に勤務経験のある教員が、ネットショッピングや銀行取引など、私たちが日常使っている仕組みで使われている情報通信技術を解説します。実際の仕組みの開発に携わった教員の実体験をもとに、技術がどのような目的でどのような形で使われているかを学び、先端技術とその社会への影響について理解の向上を図ります。			
総合・A	演習	デジタル協働学[1]	2	1～4	荻野 紫穂		*	コンピュータ関連企業に勤務経験のある教員が、企業での実務経験のあるTAとともに運営するプロジェクト型授業です。仮想会社を起業、経営する過程をとおして、履修者の、コンピュータを能動的に活用するための情報スキルと、自己管理・問題発見・問題解決・コミュニケーション・ビジネスマナーなどのソフトスキルの向上を図ります。	2	2	2
総合・B	講義	現代世界の人と生活	2	1～4	段 躍中	*		中国での新聞記者・雑誌編集者の経歴を持ち、日中交流研究所の所長を務める教員が担当し、日々変貌する中国の政治・経済・文化に焦点を当て、日本との比較をとおして、21世紀の日中交流とアジアや世界のあり方について考える授業です。	2	2	2
総合・C	講義	現代社会と経済[2]	2	1～4	◎高橋 徳行		*	対象が消費者（生活者）か企業であるかを問わず、現代社会の課題を発見でき、その課題に自分であればどのように対応できるかを自分の言葉で語ることができ、ビジネスを通して、その解決策を考案できる人物の育成を目的とする。本講座は、実際に創業し、一代で大企業を創り上げた起業家・経営者による寄付講座であり、その意思を反映し、新しい事業を新しい組織によってスタートし、その事業を通して世の中に貢献できる人材の育成を目指している。これは、武蔵大学の教育の基本目標（人材養成の目的）である、自立、対話、実践に通じるものである。後期に「現代日本の課題」として開講される授業の前半に相当するものである。	2	2	2

総合・C	講義	現代日本の課題[2]	2	1～4	◎高橋 徳行	*	身の回りに起きた課題や今の社会が必要としている課題を発見して、その課題に対してビジネスという手法を使って解決するためのプランを考え、発表することをゴールとするが、正規授業では、ビジネス実現に不可欠な資金や人材の確保にかかるテーマなど、「やりたいこと」が見えてきた後に乗り越えるべき課題について理論と実践の面から学ぶ。さらに、起業経験を租みたい学生には、課外活動としてインキュベーション施設の利用を認めるなど、自ら考えたビジネスの実践の場を与える。 「現代社会と経済」として開講される寄付講座の前期科目を事前に履修することが望ましい	2	2	2	
総合・C	講義	Introduction to Global Studies	2	1～4	ブライアン・マサハート	*	海外の大学の留学センターで指導員として勤務し、また日本では参議院議員事務所で日米政策に関する政策スタッフを務めて、グローバル化に関わる諸問題にさまざまな水準で関わり、その問題解決を試みてきた教員が担当する授業です。具体的に、今どこで何がおき問題となっているのかを知り、グローバルスタディーズの基本枠組みを学んで、グローバル化する世界のなかで、問題解決を図り、自分自身の判断を下すことができるようになることを目指します。	2	2	2	
総合・C	演習	人権ワークショップ	2	1～4	福田 紀子	*	さまざまな自治体の男女共同参画センターのスタッフを経て、現在、清瀬市男女共同参画センター センター長としてさまざまな人権問題に具体的に関わる教員が担当する授業です。参加型の学習アクティビティーをとおして、履修者が、人権の概念と実態を「あたま、からだ、こころ」で理解できるようになることを目指します。	2	2	2	
総合・E	講義	臨床心理学と人間理解	2	1～4	松島 雅子	*	*	臨床心理士、公認心理師として病院臨床、教育機関でのカウンセリングなどで様々な人の心の声に耳を傾けてきた教員が担当します。当該授業を通して臨床心理学の知見に触れ、人が生きていく上で出会う様々な課題や生きにくさ、少数派の心理などを、より身近な架空事例を想定し提示するので、共に考え議論することで、“生きた教養”を身につけることを目指す授業です	2	2	2
総合・E	講義	Introduction to Personal Health and Wellness	2	1～4	ケリー・マックグラス	*	*	健康コンサルタントとして企業等へのウェルネスプログラムの提供に携わった経験をもつ教員が担当し、多面的なウェルネスという発想を理解し、ウェルネスとしての健康を高め、パブリックヘルスとしてのウェルネスを促進する方法を学ぶ授業です。	2	2	2
総合・E	演習	心理学ワークショップ[1]	2	1～4	瀬川 未佳	*	*	出版社勤務を経て、臨床心理士の資格を取得、自治体の子ども家庭支援センターなどで相談員を務め、人材育成の研修講師も務めている教員が担当します。心身の感覚を大切にワークショップをとおして、履修者の自己理解、他者理解、コミュニケーション力の向上などを旨とする授業です。	2	2	2

総合・F	講義	キャリアデザイン論A[1]	2	1～4	北浦 正行	*		労働省（現・厚生労働省）および経済団体での勤務をへて、現在人事管理や労使関係等の諸問題に関わっている教員が担当し、履修者が、キャリアデザインについての基本的な考え方を理解し、それをふまえて具体的な職業選択に取り組めるようになることを目指す授業です。	2	2	2
総合・F	講義	キャリアデザイン論A[2]	2	1～4	西本 万映子	*		エレクトロニクスメーカー勤務から企業や団体、組織の研修講師を経て、就職支援セミナーやキャリアカウンセリング、エンプロイアビリティに関わる講座の企画立案・運用及びキャリアコンサルティング経験のある教員が担当し、履修者が、キャリアデザインについての基本的な考え方を理解し、それをふまえて具体的な職業選択に取り組めるようになることを目指す授業です。			
総合・F	講義	キャリアデザイン論A[3]	2	1～4	西本 万映子	*		エレクトロニクスメーカー勤務から企業や団体、組織の研修講師を経て、就職支援セミナーやキャリアカウンセリング、エンプロイアビリティに関わる講座の企画立案・運用及びキャリアコンサルティング経験のある教員が担当し、履修者が、キャリアデザインについての基本的な考え方を理解し、それをふまえて具体的な職業選択に取り組めるようになることを目指す授業です。			
総合・F	講義	キャリアデザイン論B[1]	2	1～4	北浦 正行	*		労働省（現・厚生労働省）および経済団体での勤務をへて、現在人事管理や労使関係等の諸問題に関わっている教員が担当し、履修者が、キャリアデザインについての基本的な考え方を理解し、それをふまえて具体的な職業選択に取り組めるようになることを目指す授業です。	2	2	2
総合・F	講義	キャリアデザイン論B[2]	2	1～4	斎藤 幸江	*		就職情報会社勤務に加えて、アメリカの大学のキャリアセンターでのインターンシップ、政府や大学とのプロジェクトや企業の新卒採用・育成支援、学生のカウンセリング等の経験がある教員が担当し、日本の雇用や採用について、多角的な視点で取り上げる授業です。豊富な実例や履修者の考えを主体的に紹介し、楽しく刺激を受けながら、学生生活のあり方、そして将来を考えます。			
総合・F	講義	キャリアデザイン論B[3]	2	1～4	斎藤 幸江	*		就職情報会社勤務に加えて、アメリカの大学のキャリアセンターでのインターンシップ、政府や大学とのプロジェクトや企業の新卒採用・育成支援、学生のカウンセリング等の経験がある教員が担当し、日本の雇用や採用について、多角的な視点で取り上げる授業です。豊富な実例や履修者の考えを主体的に紹介し、楽しく刺激を受けながら、学生生活のあり方、そして将来を考えます。			
総合・F	演習	キャリアデザイン演習	2	2～4	北浦 正行	*		労働省（現・厚生労働省）および経済団体での勤務をへて、現在人事管理や労使関係等の諸問題に関わっている教員が担当し、演習形式で仕事・職業理解を中心としたキャリアデザインに関する知識を深く学び、履修者のキャリアデザイン能力を上げていくことを目指す授業です。	2	2	2
総合・F	演習	インターンシップ特講	1	3・4	◎大熊 美音子	*	*	百貨店等勤務を経てキャリアアドバイザーやビジネスマナー講師の経験を持つ教員とが担当し、履修者が、キャリア支援センター職員、外部講師、派遣予定先企業担当者などに関わりながら、社会人基礎力を身につけ、インターンシップへの派遣の準備をするための授業です。	1	1	1

総合・F	実習	インターンシップ	1	3・4	◎大熊 美音子	*	百貨店等勤務を経てキャリアアドバイザーやビジネスマナー講師の経験を持つ教員とが担当し、履修者が、企業の協力の下に、実際に就業体験に赴き、その体験を自己発見と将来のキャリア形成に役立てるための授業です。	1	1	1
全学対象	演習	学部横断型課題解決プロジェクト [2～4年生]	4	2～4	◎大熊 美音子	*	実際に協力企業から課題（CSR報告書の作成）を出してもらい、履修者が各々の専門知識を活用しながら学部の垣根を越えて協力してこの課題に取り組むことをとおして、社会人としての基礎的能力を育成することを目指すプロジェクト型の授業です。授業期間中、企業担当者が、経過・成果報告を受けコメント・アドバイスをするために複数回授業に来訪します。また、授業期間中には、各種評価ツールの記入、ブログへの活動記録、キャリアコンサルタントとの面談なども実施します。	4	4	4
全学対象	演習	学部横断型課題解決プロジェクト [1～4年生]	4	1～4	◎大熊 美音子	*	実際に協力企業から課題（CSR報告書の作成）を出してもらい、履修者が各々の専門知識を活用しながら学部の垣根を越えて協力してこの課題に取り組むことをとおして、社会人としての基礎的能力を育成することを目指すプロジェクト型の授業です。授業期間中、企業担当者が、経過・成果報告を受けコメント・アドバイスをするために複数回授業に来訪します。また、授業期間中には、各種評価ツールの記入、ブログへの活動記録、キャリアコンサルタントとの面談なども実施します。			
合計								32	32	32

※ 授業担当者名の◎は、複数担当者による授業の代表教員を示す